

平成 30 年 7 月中間期 (平成 30 年 1 月 21 日～平成 30 年 7 月 20 日)
 中間決算短信

平成 30 年 9 月 3 日

ファンド名 純プラチナ上場信託 (現物国内保管型) 上場取引所 東証
 コード番号 1541
 連動対象指標 東京商品取引所におけるプラチナ1グラムあたりの先物価格を、一定の貴金属業者の提示する
 フォワードレートで現在価値に引き直した価格に基づくプラチナ地金の標準純度質量1
 グラムあたりの価格
 主要投資資産 プラチナ地金
 売買単位 1口
 発行会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 URL <http://kikinzoku.tr.mufg.jp/>
 代表者名 取締役社長 池谷 幹男
 問合せ先責任者 証券代行部 日野 真 TEL (03)3287-9548

半期報告書提出予定日 平成 30 年 10 月 17 日

I ファンドの運用状況

1. 平成 30 年 7 月中間期の運用状況 (平成 30 年 1 月 21 日～平成 30 年 7 月 20 日)

(1) 資産内訳

(千円未満切捨て)

	主要投資資産		現金・預金・その他の資産 (負債控除後)		合計 (純資産)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	千円	%	千円	%	千円	%
30 年 7 月中間期	11,738,626	(100.0)	△ 4,345	(△0.0)	11,734,281	(100.0)
30 年 1 月期	11,726,613	(100.0)	△ 5,197	(△0.0)	11,721,415	(100.0)

(2) 設定・交換実績

	前計算期間末 発行済口数(①)	設定口数(②)	交換口数(③)	当中間計算期間末 発行済口数 (①+②-③)
30 年 7 月中間期	口 3,357,166	口 208,852	口 161,049	口 3,404,969

(3) 純資産

	総資産 (①)	負債 (②)	純資産 (③(①-②))	1口当たり純資産 (③/当中間計算期間末発行済口数)
	千円	千円	千円	円
30 年 7 月中間期	11,748,160	13,879	11,734,281	3,446.22
30 年 1 月期	11,758,547	37,131	11,721,415	3,491.46

2. 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 無
 ② ①以外の会計方針の変更 無

II 中間財務諸表等

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

科目	期別	前計算期間末 平成30年1月20日	当中間計算期間末 平成30年7月20日
資産の部			
流動資産			
銀行勘定貸		31,933	0
未収消費税等		-	9,533
未収収益		-	0
流動資産合計		31,933	9,534
固定資産			
投資その他の資産 (※1)		11,726,613	11,738,626
固定資産合計		11,726,613	11,738,626
資産合計		11,758,547	11,748,160
負債の部			
流動負債			
未払金		5,614	4,693
仮受金		-	9,186
未払消費税等		31,517	-
流動負債合計		37,131	13,879
負債合計		37,131	13,879
純資産の部			
元本等			
元本 (※2,3)		11,873,058	11,908,740
利益剰余金			
その他利益剰余金			
繰越利益剰余金 (※3)		△ 151,642	△ 174,458
利益剰余金合計		△ 151,642	△ 174,458
元本等合計		11,721,415	11,734,281
純資産合計		11,721,415	11,734,281
負債純資産合計		11,758,547	11,748,160

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

科目	期別	前中間計算期間		当中間計算期間	
		自 至	平成29年1月21日 平成29年7月20日	自 至	平成30年1月21日 平成30年7月20日
営業費用					
受託者報酬			27,924		25,349
その他費用			1,690		1,551
その他の事業費用 (※1)			2,330		3,841
営業費用合計			31,946		30,742
営業損失 (△)			△ 31,946		△ 30,742
営業外収益					
受取利息			0		0
営業外収益合計			0		0
経常損失 (△)			△ 31,946		△ 30,742
税引前中間純損失 (△)			△ 31,946		△ 30,742
中間純損失 (△)			△ 31,946		△ 30,742

（3） 中間注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1 投資その他の資産の評価基準及び評価方法	移動平均法による原価法により評価を行っております。
2 その他	本信託における消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

（中間貸借対照表に関する注記）

前計算期間末（平成30年1月20日）

- ※1 投資その他の資産は、信託約款第7条に定める本信託の信託財産であるプラチナ地金であります。
 ※2 元本は、「財務諸表等規則」第61条に定める資本金であります。
 ※3 元本及び利益剰余金の変動
 当計算期間（自平成29年1月21日 至 平成30年1月20日）

（単位：千円）

	元本等			元本等合計	純資産合計
	元本	利益剰余金	利益剰余金 合計		
		その他利益剰余金			
		繰越利益剰余金			
当期首残高	12,466,870	△ 120,803	△ 120,803	12,346,067	12,346,067
当期変動額					
設定	2,784,847	—	—	2,784,847	2,784,847
転換	△ 3,378,659	32,704	32,704	△ 3,345,955	△ 3,345,955
当期純損失 (△)	—	△ 63,543	△ 63,543	△ 63,543	△ 63,543
当期変動額 合計	△ 593,811	△ 30,839	△ 30,839	△ 624,651	△ 624,651
当期末残高	11,873,058	△ 151,642	△ 151,642	11,721,415	11,721,415

純プラチナ上場信託（現物国内保管型）（1541）平成30年7月中間期中間決算短信

当中間計算期間末（平成30年7月20日）

※1 投資その他の資産は、信託約款第7条に定める本信託の信託財産であるプラチナ地金であります。

※2 元本は、「中間財務諸表等規則」第33条に定める資本金であります。

※3 元本及び利益剰余金の変動

当中間計算期間（自 平成30年1月21日 至 平成30年7月20日）

（単位：千円）

	元本等			元本等合計	純資産合計
	元本	利益剰余金	利益剰余金 合計		
		その他利益剰余金 繰越利益剰余金			
当期首残高	11,873,058	△ 151,642	△ 151,642	11,721,415	11,721,415
当中間期変動額					
設定	605,252	—	—	605,252	605,252
転換	△ 569,570	7,925	7,925	△ 561,644	△ 561,644
中間純損失(△)	—	△ 30,742	△ 30,742	△ 30,742	△ 30,742
当中間期変動額 合計	35,681	△ 22,816	△ 22,816	12,865	12,865
当中間期末残高	11,908,740	△ 174,458	△ 174,458	11,734,281	11,734,281

（中間損益計算書に関する注記）

前中間計算期間 自 平成29年1月21日 至 平成29年7月20日	当中間計算期間 自 平成30年1月21日 至 平成30年7月20日
※1 その他の事業費用とは、信託約款第23条に基づく信託財産の売却による損失であります。	同左

純プラチナ上場信託（現物国内保管型）（1541）平成30年7月中間期中間決算短信

（金融商品に関する注記）

I 金融商品の時価等に関する事項

（1）中間貸借対照表計上額の時価との差額

中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次の通りです。

（単位：千円）

	前計算期間末 (平成30年1月20日)		
	貸借対照表計上額	時価	差額
①銀行勘定貸	31,933	31,933	—
資産計	31,933	31,933	—
②未払消費税等	31,517	31,517	—
負債計	31,517	31,517	—

（単位：千円）

	当中間計算期間末 (平成30年7月20日)		
	中間貸借対照表計上額	時価	差額
①銀行勘定貸	0	0	—
②未収消費税等	9,533	9,533	—
③未収収益	0	0	—
資産計	9,534	9,534	—
④仮受金	9,186	9,186	—
負債計	9,186	9,186	—

（2）時価の算定方法

前計算期間末 (平成30年1月20日)	当中間計算期間末 (平成30年7月20日)
①銀行勘定貸 短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額に拠っております。	①銀行勘定貸 短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額に拠っております。
②未払消費税等 短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額に拠っております。	②未収消費税等 短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額に拠っております。
	③未収収益 短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額に拠っております。
	④仮受金 短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額に拠っております。

（1口当たり情報に関する注記）

（単位：円）

前計算期間末 (平成30年1月20日)	当中間計算期間末 (平成30年7月20日)
1口当たり純資産額 3,491.46	1口当たり純資産額 3,446.22

（単位：円）

前中間計算期間 自 平成29年1月21日 至 平成29年7月20日	当中間計算期間 自 平成30年1月21日 至 平成30年7月20日
1口当たり中間純損失(△) △ 9.41	1口当たり中間純損失(△) △ 9.35

